

vol.5 栄養評価に必要な検査項目

～ Part1: 血清アルブミン (Alb) ～

血清アルブミン (Alb)

血清アルブミン値は**重要な栄養状態の指標**です。

アルブミンは、血液中のたんぱく質の一種で、総たんぱく質の約半分を占めています。主な働きは、栄養素や代謝産物の運搬・浸透圧の維持などで、栄養評価をする際に低栄養となっていないか調べる指標となっています。半減期は約 21 日と長く、中・長期的は栄養状態を反映するので、「今」の栄養状態でなく「約 3 週間前」の栄養状態を示すものとなります。

アルブミンの働き



微量元素や脂肪酸などを運びます

+



薬やホルモンを運びます

+



毒などを結合します

低アルブミン値は「**低栄養だけ**」が原因ではありません。

肝機能障害によるアルブミン合成能力の低下や腎疾患や胸水貯留によるたんぱく質漏出など低栄養以外でも低くなる可能性があるため、他の検査値と比較して評価していく必要があります。

血清アルブミン値の評価判定

血清アルブミン値 (g/dl)	
3.5 以上	正常
3.5 ~ 3.1	軽度栄養不良
3.0 ~ 2.1	中等度栄養不良
2.1 未満	高度栄養不良

※当院 NST では**アルブミン 3.0g/dl 以下**を栄養不良とみなしています

臨床検査部